

イチゴ、アブラナ科野菜で菌核病の発生が見られています

1. 対象作物： イチゴ、アブラナ科野菜（ハクサイ、キャベツ等）
2. 対象病害虫名： 菌核病



(図1 左からイチゴ、ハクサイ、キャベツの菌核病)

3. 発生状況

病害虫防除所の12月の巡回調査（12月5日～8日）における菌核病発生ほ場率は、イチゴほ場では、36%、冬キャベツほ場では50%、ハクサイほ場では10%といずれも高い状況でした。（図1）

また、一般的に本病は比較的低温で、曇雨天が続く時に多く発生するとされています。

今年の10月以降の気象をみると、本病の発病に好適な温度（15～20℃）が続き、その時期に大雨があつたり降雨が続いたため、多湿条件とも重なり、発生が多くなったと考えられます。

4. 防除対策

- (1) 特に台風による冠水が見られたほ場では、予防的な薬剤散布が有効です。
- (2) 発病後の薬剤散布は効果が低いです。
- (3) 本菌は、病勢が進むと菌核を形成し、土壌中に残存して翌年の伝染源となります。
- (4) 被害部位（イチゴの被害果実やアブラナ科野菜では発病株）を含む残渣は、早急に除去しほ場外で適切に処分して下さい。
- (5) 被害茎葉等を長くほ場に放置しないようにして下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。